



むなかた市議会だより

平成30年6月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会広報編集部会
●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591
●市ホームページ=<http://www.city.munakata.lg.jp/050/080/index.html>

平成30年6月定例会のあらまし

■本定例会は、6月18日から7月13日までの26日間で開催されました。

■6月18日には伊豆新市長の施政方針演説が行われ、多くの市民が傍聴に訪れました。

■6月19日には4人の議員による代表質問が、6月20日、21日、22日の3日間には14人の議員による一般質問が行われました。

■市長提案の議案20件は、本会議で全て同意承認、可決しました。うち8件は6月26日から7月2日の間に行われた常任委員会および特別委員会での審議を経ています。

■本会議の最終日に副市長と教育長の人事に関する議案が追加提案され、いずれも同意しました。

全員賛成で可決

30年度補正予算

一般会計

20億7819万3千円増額

30年度一般会計当初予算は、市長選挙のため、義務的経費や継続事業などの経費を中心とした骨格予算でした。6月定例会において、新規事業や政策的な事業を肉付けした補正予算が提案されました。これにより、30年度一般会計予算は合計351億6965万円となり、昨年度の一般会計当初予算351億4815万5千円と同程度の予算規模となりました。

補正予算の主な内容は次のとおりです。

主な事業

元気なまちづくり基金積立金

6億円

基金に積み立てることができる合併特別事業債の借入限度額の算定方法の変更に伴い、限度額まで借り入れ基金に積み立てるもの。積立後の基金残高は36億円。

問 増額分の使い道は。

答 これまでも基金は人づくりでまちづくり事業補助金やコミュニティ活動推進事業費などの市民協働、市民活動の推進に使っている。増額後も基金の使い道は変わらない。



コミュニティ活動推進事業費

1億6501万6千円

自由ヶ丘地区コミュニティ・センターの駐車場について、これまで借りていた土地を購入し駐車場として整備するもの。このほか、南郷地区コミュニティ・センターの駐車場整備費用など。

問 自由ヶ丘コミセンの駐車場不足が解消できるのか。

答 購入する土地は、すでに駐車場として活用しているため、駐車台数は変わらない。



自由ヶ丘コミセン駐車場

地域子ども・子育て支援事業費

5620万8千円

医療法人片山医院（稲元）に病児保育施設を建設するための補助金。国・県・市を合わせた補助率は、建設にかかるものが10分の9、開設準備にかかるものが10分の10となっている。

問 施設の建物の所有権はどなるのか。

答 医院の所有になる。

問 建物の改修費用の補助はあるのか。

答 建設時の補助金はあるが、改修にかかる補助金はない。

問 病児保育の定員や職員配置は。

答 定員は6人。体制は小児科医師1人、看護師1人、保育士2人を予定している。



市立学校空調設備整備事業費

3257万7千円

市立学校普通教室への空調設備整備にあたり、PFI手法を導入することに伴う事業者選定費用およびアドバイザリー業務委託料を計上する。これに関連して債務負担行為（※1）では、平成30年度から43年度までの期間で、限度額を11億1500万円とする事業費を定めている。

予定では、全校への設置工事を平成31年度に完了させ、運用を開始。その後、整備費と維持管理費を平成43年度まで分割して支払う。

主な意見

▼PFI方式導入により、エアコン設置が全校一斉に短期間で実施されることを評価する。

▼設計から整備、管理までを長期にわたり委託する事業であり、業者選定は実績や事業計画などを重視し慎重に評価すること。

▼地元業者の参加状況や、育成への貢献が目に見えるように事業を進めてほしい。

官民共同産業振興事業費

1950万円

プレミアム付き商品券2億円の発行事業や効果検証の業務委託および市内の公共的団体を対象とした産業振興事業補助金を計上する。

今回は、プレミアム率を15%から10%に変更、1世帯あたりの発行上限額の減額、リフォーム券の発行額拡大を行う。

問 なぜプレミアム率を下げたのか。

答 宗像市では平成21年度からプレミアム商品券を発行しており、当初はプレミアム率10%だった。近隣市における大型商業施設の出店などによる消費流出対応のため一時的に15%に上げたが、消費流出についても大きな影響はなかったため、商工会などと協議をして今回は10%に戻している。

事業の経緯と今後の予定

平成29年度予算で、空調設備整備を目的としたPFI事業の導入可能性調査を行った結果、PFI方式が最適との結果が出された。

今回の平成30年度予算で、PFI事業を行うにあたっての事業者選定委員会に要する費用を計上。

（予定）平成30年中に事業者を決定し、平成31年3月議会に契約議案を提出。

（予定）事業期間を平成31年度から平成43年度までの13年間とし、合計375教室の整備を行う。

PFI（Private Finance Initiative）とは公共施設などの建設、維持管理、運営などを民間の資金、経営能力および技術的能力を活用することで、効率化やサービスの向上を図る公共事業の手法。

賛成多数

主な議案

財産の処分について
(野坂地区)

市が所有する野坂地区の里道および用水路の売却について賛成多数で可決しました。土地の総面積は約1万4000平方メートル、売却価格は約2100万円。周辺土地を所有する事業者が大規模な太陽光発電所の開発を予定していることについて、委員会では市の都市計画マスタープランとの整合性や周辺地域との協議の状況など、活発な質疑が行われました。また、大規模開発に伴う災害発生の可能性を指摘し、その対応策について意見が多く出されました。



売却される土地の一部

全員賛成

主な議案

財産の処分について
(原町地区)

原町地区の山林などを含む土地（総面積約6400平方メートル）を約2100万円で売却する案についての審議では、売却後、南郷小学校に隣接するエリアを宅地開発する計画があることから、安全面や環境面についての質疑が行われました。



南郷小横の売却予定地

主な質疑

問

答

問

答

問 小学校そばの開発であり、児童の登下校時の安全は確保できるのか。

答 今後、事業者が県に開発許可申請をする中で、周辺住民への周知、安全への配慮については、事前に十分な協議がされると認識している。

問 南郷小学校の児童にとっては良好な緑の環境が損なわれることになるが、保護者や学校関係者の声は。

答 開発で広い道路がつくれ、通学路の安全性が高まることについては好意的な意見が聞かれる。

賛成多数

主な意見

《賛成意見》

太陽光発電はまだ新しい事業であり、未知の部分がある。将来的に発電能力が落ちた設備を事業者が放置することなども考えられる。土砂災害や火災などへの安全対策も含めた対応を要望する。

大規模に山を切り開くことで発生する土砂災害や強風でパネルが飛び危険性、火災の発生などが考えられる。災害を起こさない管理を事業者に徹底してほしい。

《反対意見》

地元では十分な協議がなされたようだが、市はこれまで守ってきた市民の住環境を今後どのように考えているのか。今回の大規模開発は行政としてストップをかけることも可能だったのではないか。丘陵地の保全や水源の確保など、市民の住環境に関する市の方針がきちんと描かれて、市民への説明責任が果たせる状況であれば納得できるが、現段階での判断は拙速だと考える。

賛成多数

主な議案

宗像市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

国の基準が改正されたことに伴い、条例の一部を改正し、放課後児童支援員の基礎資格要件を次のように見直す案が出されました。①要件を拡大し、高等学校卒業者でなくとも、放課後児童支援員になることが可能となった。②学校の教諭となる資格を有する者を教育教員免許法に規定する免許状を有する者に改め、教員免許状の更新を受けていない場合の取り扱いを明確にした。

主な質疑

問

答

問 「免許状を有するもの」とは、教員免許の更新をしていない場合でも、免許を有するつもりでよいのか。

答 そのとおり。

全員賛成

主な議案

宗像市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例について

福岡広域都市計画地区計画（道の駅むなかた地区地区計画）の都市計画変更を行ったことに伴い、宗像市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例案が、市長から提案されました。

改正の内容は、地区計画の区域内における建築物の高さの最高限度を、景観計画に合わせ、13メートルから10メートルに変更するものです。

追加議案

同意

副市長の選任について
宗像市教育委員会教育長の任命について

議会最終日に、副市長の選任と教育長の任命について、追加議案が提出されました。

副市長として前副市長である久芳昭文（くば あきふみ）氏を選任、教育長として高宮史郎（たかみや しろう）氏を任命する案が提出され、いずれも同意しました。

○ ○ ○ 提出議案と議決結果 ○ ○ ○

6月定例会で審議し、同意、承認、可決した議案のうち、主な議案と賛否が分かれた議案を紹介します。すべての議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。

【全員賛成で可決した主な議案と内容】

議案名	内 容
宗像市元気なまちづくり基金条例の一部を改正する条例	「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界遺産に登録されたこと及び基金の額を変更することに伴い、条例を改正するもの
宗像市税条例の一部を改正する条例	生産性向上特別措置法の施行に伴い、条例を改正するもの（中小企業の設備投資に係る固定資産税軽減措置の創設）
宗像市介護保険条例の一部を改正する条例	介護保険法施行令等の改正に伴い、引用条文を整理するため、条例を改正するもの
平成30年度宗像市一般会計補正予算（第1号）	平成30年度の補正予算を提案するもの

【賛否が分かれた議案名と議決結果（○：賛成した人 ◆：反対した人）】

議案名	議員氏名 議決結果	岩岡 良	上野 崇之	井浦 潤也	笠井香奈枝	小林 栄二	吉田 剛	森田 卓也	安部 芳英	井上 正文	岡本 陽子	北崎 正則	伊達 正信	神谷 建一	福田 昭彦	小島 輝枝	新留久味子	石松 和敏	植木 隆信	末吉 孝
財産の処分について（野坂地区）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	◆	◆
国の負担で学校給食の無償化を求める意見書の提出について	否決	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	◆	○	○
カジノ実施法案を廃案とすることを求める意見書の提出について	否決	◆	○	◆	○	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	◆	○	○

※花田鷹人議長には、賛成・反対の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

委員会レポート

5月に実施した、3常任委員会の行政視察の概要を報告します。
※詳しくはホームページをご覧ください。

一宮市中央子育て支援センターは、名古屋駅からJRで15分程の尾張一宮駅に隣接した市の複合施設「i（アイ）ビル」内に設置されている。施設には図書館や開放的なテラスがあり市民が思い思いにくつろぐ風景が印象的であった。センターでは、保育士が市内15カ所の施設を巡回し開設する「移動子育て支援センター」の仕組みについて、また、保育所に一世帯3人同時に入所した場合は全員の保育料が無料となる「保育料多子減免制度」の概要について説明を受けた。

また「子ども一時預かり事業」については同センター内で開設している様子を見学することができた。この事業は保護者のリフレッシュを目的とし、6カ月から未就学の乳幼児を、一日4時間以内、1時間500円で預かっている。保育士が担当するため安心であること、施設が駅に隣接し外出に便利であること、どんな理由でも預けられることなど利便性が高く利用者が増加しており、予約が難しくなっていることが課題とのことだった。

子育て支援は本市でも重要な課題であり、一宮市の多様な取り組みは、本市の支援を考えるうえで良い刺激となるものだった。



視察の様子（一宮市中央子育て支援センター）

平成26年3月に環境モデル都市に選定された生駒市は、少子高齢化や産業構造の弱さ、市民力の活用などの住宅都市共通の課題に対し、エコを切り口に取り組んでいる。

取り組みの一つである市民共同発電所「市民エネルギー生駒」では、全額市民出資で太陽光発電設備を市内4カ所に設置。メンバー全員が65歳以上とシルバー人材が活躍している。また、収益で園舎パネルを寄贈するなど市民に見える形で地域還元を行っていた。



視察の様子（生駒市 小水力発電施設）

次に、山崎浄水場内にある小水力発電施設の現地視察を行った。水道水を受水する際の水圧を有効利用し発電機を回して発電を行っていた。時間や天候に左右されず常時一定量の水量が確保できるため、効率的な発電ができるというメリットがあるとのこと。また、発電機棟が線路に面しているため、壁面に「小水力発電」と表示し、通勤通学者に再生可能エネルギーの有効活用をアピールする工夫をしていた。

いずれの取り組みも、売電収入を得るだけではなく、市民力の活用や地域への貢献、啓発に生かす工夫をしており、大変参考になった。

富山市は、まちづくりの理念を「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」とし、地域の拠点を「お団子」に、公共交通（鉄道・バス）を「串」に見立てた「お団子と串」の都市構造を目指し、コンパクトなまちづくりが進められていた。

今年度、立地適正化計画を策定し、「コンパクトで魅力的な地域がネットワークする生活交流都市」を目指す本市にとって、大変参考になる事業であった。委員の所感は以下のとおり。



視察の様子（富山市役所）

公共交通を軸に、中心市街地や沿線地区に生活・商業施設と居住の誘導をはかる「富山市のコンパクトなまちづくり」は、市内電車の利用増加、中心市街地の空き店舗減少、当該地区の転入人口の超過傾向、地価上昇など、多面的に成果が出ている成功事例であった。

商業施設整備、民間企業の誘致、高齢化時代を見据えた地域包括支援センターの設置など、誰もが歩いて移動できる範囲を生活圏としたまちづくりが進んでいた。日の里、自由ヶ丘地区などは、公共交通・公共施設の整備が、今後必要になってくるのではないかと考える。

総務常任委員会

平成30年5月14日～5月16日（3日間）

1	愛知県一宮市 (5月14日)	移動子育て支援センター、 子ども一時預かり事業、 保育料の多子減免制度について
2	愛知県新城市 (5月15日)	主権者教育（若者議会） について
3	岐阜県多治見市 (5月16日)	健全な財政に関する条例、 わかりやすい予算・決算 説明書について

社会常任委員会

平成30年5月8日～5月10日（3日間）

1	元興寺文化財 研究所 (5月8日)	文化財の保存と活用につ いて
2	奈良県生駒市 (5月9日)	環境モデル都市の取り組 みについて
3	大阪府和泉市 (5月10日)	地域包括ケアシステムの 構築について

建設産業常任委員会

平成30年5月8日～5月10日（3日間）

1	富山県 富山市 (5月8日)	コンパクトなまちづくりに ついて
2	富山県 南砺市 (5月9日)	世界遺産を活用した観光に ついて
3	富山県 高岡市 (5月10日)	歴史的風致維持向上計画に ついて

政務活動費収支報告書を 公開しています。

政務活動費とは議員の市政に関する調査研究その他の活動に必要な経費として交付されるものです。

宗像市では、議員個人に月額2万2千円（年額26万4千円）を交付しています。

平成29年度は、総額約420万円が支出されました。

収支報告書・領収書を公開

議員から提出された収支報告書・領収書は、市議会のホームページで公開しています。

【宗像市公式ホームページ→市議会→政務活動費→収支報告書閲覧制度→
〇〇年度交付分→議員名をクリック】

また、議会事務局で申請をすれば、写しを閲覧することができます。
＊閲覧の申請をされる場合は、事前に議会事務局へご連絡ください。

市議会のくわしい
情報や議会中継はホーム
ページをご覧ください。



ホームページ
QRコード

宗像市議会

検索

お問い合わせは
議会事務局へ
Tel0940(36)1119

残暑お見舞い
申し上げます

公職選挙法では「議員は答礼のための自筆によるものを除き、暑中お見舞いなどの時候のあいさつ状を出すことは禁止」されています。市民のみなさんのご理解をお願いします。

宗像市議会議員一同

元気よく
手をあげる子どもたち



日の里東小学校3学年の児童のみなさんが、7月19日に社会科見学の一貫で議場見学にきました。クイズ形式で市役所のことや選挙のことを尋ねると、元気よく手を挙げて答えてくれました。また分からないことはきちんと聞くなど、しっかりした一面も見えました。

小学生議場見学
小学生が議場見学に
来ました！

会派の主張

宗像市議会には、平成30年4月1日現在で、9つの会派があります。
それぞれの会派の活動方針などを紹介します。

郷土愛あふれる 元気な宗像づくりにまい進します



【後列左から】小林栄二議員、森田卓也議員、井上正文議員、吉田剛議員、井浦潤也議員
【前列左から】花田鷹人議長、伊達正信議員、神谷建一議員

むなかたしせい
宗像志政クラブ

代表 伊達 正信

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界遺産に登録され、国内外の注目を集めると同時に神代から伝わる歴史と文化、信仰の価値が世界に認められたことで宗像に住む私たちの意識も新たになりました。

先人から受け継いだ郷土に誇りを持ち、有形・無形の資産を次世代に継承していきます。また、郷土愛を育んだ子どもたちが世界へ羽ばたいていくグローバルな教育力の充実を目指します。また、グローバルアリーナとの連携を深め、スポーツ・国際交流・文化の風薫る宗像を実現していきます。

女性の社会進出を推進するため、子どもを育てながら安心して働ける環境の整備に積極的な投資が必要だと考えます。

もを育てながら安心して働ける環境の整備に積極的な投資が必要だと考えます。

元気な地場産業が宗像の元気をけん引すると考え、意見交換を積極的に進め、活性化に努めます。

高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らし、若者世代と共に地域を支え合う共生のまち、障がい者と健常者が違和感なく学び暮らせる豊かなまちを目指します。

このたび、西日本地方を襲った集中豪雨にみられるように、災害の多い日本を意識し、皆さんと共に災害に強い宗像の安心・安全なまちづくりに努めてまいります。

にほんきょうさんとう
日本共産党

代表 末吉 孝

住民が主人公の 市政実現を目指して

日本共産党は、国会において安倍政権との最も厳しい対決者として、森友・加計問題など一連の疑惑の究明でも、暮らし経済や外交問題でも、国会で抜群の働きをしています。この間、独自に入手した内部情報も活用して論戦を進めてきましたが、日本共産党に次々と内部告発が寄せられるのも、安倍政権の強権政治・国政私物化に対する国民の怒りと、その対決姿勢に対する信頼の表れではないでしょうか。また安倍強権政治を変えたとい、市民と野党の共闘の動きが全国で広がっています。その要（かなめ）の役を日本共産党に期待しています。

新留・植木・末吉の3人の市議団は、いずれもベテラン議員ですが、常に初心に立ち返り、市民要求を実現し、住民が主人公となる市政実現を目指して頑張ります。



【左から】植木隆信議員、新留久味子議員、末吉孝議員

しみんれんごう
市民連合

代表 福田 昭彦

市民目線で市政を 厳しくチェックしていく

市民連合は市民と共に歩んでいく会派です。常に市民目線で市政を監視することが大変重要だと考えます。行政は時には市民不在の行政都合で政策を押し進める可能性があり。そこで行政が行おうとする施策が果たして市民全般に本当にプラスになるのかどうかを市民目線で厳しくチェックし、市民ファーストになる施策を推進していかなければならないと考えます。特に予算編成では次世代に負担がかからないように無駄な借金を決してさせないようしっかりと監視してまいります。



福田昭彦議員

しみんせい
ふくおか市民政治ネットワーク

代表 笠井 香奈枝

子育て・介護を ひとりぼっちにしないまちに

ふくおか市民政治ネットワークは、27年前に市議会に女性議員を送り出して以来、誰もが大切にされ、孤立せずに安心して暮らせるまちを目指して活動してきました。

生活の課題は政治に直結しており市民のみなさんと課題を共有し、共に解決策を考えてきました。今後財政が一層厳しくなる中、事業の取捨選択がますます重要になります。

これからも、「いのち」と「暮らし」を守ることを最優先に考え、市民のみなさんの声を議会に反映し市民目線で活動を進めていきます。



笠井香奈枝議員

公明党

代表 石松 和敏

「市民目線・生活者視点」で市政を監視

公明党は「大衆とともに」の立党精神を堅持し、今年
は結党54周年を迎え住民福
祉の実現を目指し活動。特
に幼児教育の無償化や高等
教育の無償化など具体的な
政策を提言し実現させてい
ます。

私たち公明党議員は、庶
民の代表として「市民目線」
「生活者の視点」を信条に
地域や市民の声を聞き、と
もに寄り添い課題解決に向
けて活動しています。
市政においても数多くの

政策提言を行い多くの成果
が実現。子ども相談支援セ
ンターの設置、学校空調設
備設置の実現、プレミアム
商品券の発行、学校トイレ
の改修、乳幼児医療費無償
化の拡充、ジェネリック医
薬品の推進、事後審査の実
施による入札事務改善など
です。

今後も市政運営に対し政
策提言を行うとともに行過
ぎを抑えるブレーキ役も果
たしてまいります。



【左から】岡本陽子議員、石松和敏副議長

とびうおクラブ

代表 北崎 正則

「元気なまち」「元気な市民」のために

私たちとびうおクラブ
は、安部芳英、北崎正則、
2人の会派です。互いの特
性を生かしながら議論を交
わしています。まずは、市
民の方々の声をよく聴き、
よく考え、市民目線・市民
感覚として提案づくりの過
程を大切にしながら活動し
ています。

主な取り組みは、
○教育活動の充実
(学習支援体制・特別支援
教育の推進)
○スポーツと健康づくりの

一体的な取り組み
(スポーツ施設の整備や健
康づくりの推進)

○地域の活性化
(農林水産業・商工業への
支援)

○自主財源を生み出す仕組
みづくり
(公共施設の利活用の推進)
などです。

これらの施策の実現に向
けて、市民の皆さまの声を
直接伺う座談会や各種団体
との意見交換会など積極的
に行っています。



【左から】北崎正則議員、安部芳英議員

市民自治の会

代表 上野 崇之

市民自治を土台に「しなやかで強い」政治を

政治は決めるため、あらゆる現
場で営まれています。決める過
程を軽視する政治は不要な対立を
招き共存の余地を減らします。そ
うならないよう、議員は通常、語

らい合い(対話)、埋め合い(総合)、
社会の多様性を反映した政策決定
を行います。

市民自治の会が重視すること
は、社会の多様性と持続可能性を
高めることです。激しく
変化する疾風の中でも、
「しなやかで強い」
政治の芽(目)が自治の
現場で育まれ、互いに支
え合って実りをもたらす
ような提案に努めていま
す。



上野崇之議員

日本維新の会

代表 岩岡 良

未来のために「しがらみにとらわれない政治を目指す」

日本維新の会は、「個人・地域・
国家の自立」という政治理念のも
と、厳しい現実を直視し、聞こえ
のよいことだけを訴えることな
く、「逃げずに真正面から」政策

提案を行ってまいります。
道州制を見据えた統治機構の改
革により、地方のことは地方が決
めることができる地方分権の実現
を目指し、地方から国を変えてゆ
く。

未来に負担を先送りせ
ず、本当に必要な支援を
可能とするため、限りあ
る財源の使途を厳しく監
視し、徹底した行財政改
革に挑んでまいります。



岩岡良議員

宗輝会

代表 小島 輝枝

輝く宗像市を目指して

昨年は「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界
遺産に登録され、宗像市の歴史の1ページを飾る輝かし
い1年となりました。世界が認める宗像市の遺産をどの
ように守り、どのように後世に伝えていくのか、今を生
きる私たちの責務です。

キラリと光る宗像市を次の世代に渡すため、今後は
是々非々をモットーに市政に真剣に向き合い、市民の皆
さまの代弁者として臆することなく議員活動にまい進し
てまいります。



小島輝枝議員

皆さまの
ご意見をお
待ちしてい
ます。

議会用語

Q&A



会派とは



市政に対して同じ考えを持った
議員の集まりです。

宗像市議会では、1人でも会派を
つくることができます。

代表質問

代表質問とは、市政の基本方針である施政方針に対して、2人以上で構成する会派の代表質問者がその見解を問うものです

○平成30年6月19日に、4つの会派を代表する議員が、平成30年度の施政方針に対して質問を行いました。

○平成30年度の施政方針は、7月1日号のむなかたタウンプレスや市ホームページに掲載しています。

宗像志政クラブ



代表質問者 伊達 正信

市政方針について

問 市長が最重要施策のひとつとして掲げた、県立特別支援学校への想いとは何か。

答 福岡教育大学との連携により専門性の高い教育機会の提供が期待される。特別支援教育の充実

は重要な課題であり、県立特別支援学校の誘致は教育都市としての使命と考え、ぜひ実現させたい。

問 城山中学校の改築計画の進捗状況は。

答 現地建て替え、移転の双方を検討している。今後、さまざまな課題の整理を行い、建て替えの実現性を広い視点から検討し、整備の方向性を早急に提案したい。

問 世界遺産登録後の来訪者対策にはボランティアガイドの充実が欠かせない。ボランティアガイドとの情報交換や、待遇改善に向けてどのような対策を行っているのか。

答 過度な負担のない仕組みづくりをガイドの会と協議していく。

問 次世代を担う農家の後継者育成事業の成果と今後の見通しは。

答 新規就農者34人の経



答 地元小売店専用券の発行については、商工会と協議していきたい。

問 公共施設の維持管理・更新などの財源確保が地方自治体では大きな負担となっている。国主導でそれらを円滑にしてい

く方策を考えてほしい。「全国市長会」などで問題を提起できないか。

答 市長会への提案を検討する。

日本共産党



代表質問者 末吉 孝

地方自治の本旨に沿う市政運営を

問 県立特別支援学校誘致の整備候補地検討は。

答 関係機関と慎重に協議を進め、本市に誘致ができるよう考えている。

問 市立学校への空調設備導入のスケジュールは。学童保育施設への整備を重点的に進めるべきでは。

答 32年度から市立学校、学童施設で稼働できるよう整備を行いたい。

問 グローバル人材育成では、家庭の経済状況により海外研修に参加できない子もいる。教育の機会均等の観点で見直すべきでは。

答 公金を投入している事業は、一定の自己負担は必要であると考えている。

問 学童保育事業は指定管理者制度にそぐわないのではないのか。

答 民間能力を活用した制度の主旨と照らし合わせてもそぐわない



宗像大社を案内するボランティアガイド



グローバル人材育成事業 年少少女海外派遣研修

とびうおクラブ



代表質問者 北崎 正則

施政方針について

問 施政方針に地域とともにある学校への転換を図るとあるが、現状の課題と目指す学校のイメージとは。

答 小中一貫教育を基盤にして、今後さらに学園と地域、保護者が目標やビジョンを共有できるような関係を築き、将来的にはコミュニティ・スクールの実現を目指したい。

問 施設給食の無償化を検討すべきではないか。将来の財政見通し、施策の優先順位を見極め、慎重に判断する。

答 公共施設利用料金の値上げは見直すべきでは。

問 公共施設の維持管理に必要な経費について、適正な受益者負担は必要であると考えている。



代表質問者 石松 和敏

公明党

持続可能な自治体経営の継続を

問 赤間駅や東郷駅の駅名変更については、駅周辺住民への説明会、意見聴取なども実施し、市民の総意を大事にして決定すべきと考えるがどうか。

答 調査結果では経済的に波及効果生まれるが費用負担も多額となるため、今後は市民の意識調査等を踏まえ、慎重に検討する。

問 入札では一者入札を有効にすることで発注事務の簡素化や負担軽減になると考える。また予定技術者の事前提出は、土木では予定価格3500万円以上と未満では対応が違うが県に準拠しての変更は。

答 一般競争入札では一



東郷駅宗像大社口



宗像勤労者体育センター

者入札を再考する時期が来ており、指名競争入札についても県や他市の取り組みを鑑みて判断する。また福岡県では土木系工事の予定価格250万円以上について、配置予定技術者届を入札時に徴している。県の運用に準拠できるか試行的にでも可能かどうか検討したい。

問 地域経済活性化の視点をもってにぎわいの創出を検討するところがあるが、どう考えているのか。

答 新荷さばき所の完成に合わせ、鐘崎漁港の特性を生かして食べる・買う・体験できる複合的な施設の整備を考えている。

※2SDGs(エスディー・ジーズ)Ⅱ世界が2030年までに達成すべき17の国際社会共通の目標。日本では、持続可能な開発目標と訳される。2015年9月に国連サミットで採択された。
※3オーガニックⅡ化学合成の農薬、肥料を3年以上使用していない土壌で栽培された農作物。
※4ブランドⅡブランドを構築するための組織的かつ長期的な取り組みのこと。
※5暗渠排水(あんきよはいすい)Ⅱ水田などの過剰な水分を排水するため地下に埋設した管を用いて排水を行うこと。

平成30年6月定例会

一般質問

一般質問とは、議員が市の行政事務全般について市の見解を問うものです。

平成30年6月20日から6月22日の3日間にわたって、14人の議員が合計30項目の質問を行いました。

○質問を行った順に掲載しています。

○掲載項目などは質問を行った議員が選択しています。

○質問の詳細については、宗像市議会ホームページの録画映像もしくは9月上旬に公開予定の議事録をご覧ください。



2030年までに何をすべきか
とびうクラブ／安部 芳英

問 持続可能な開発目標であるSDGs(※2)について、国内でも取り組んでいる自治体が少なく、世界規模で世界基準のまちづくりを行うという発信にもなるので、宗像市でも全面的に打ち出しているのか。

答 17の目標指針の中で本市としてこれを目指し



問 ていくのか、時間をいただき研究していきたい。
問 ハローワークにはマザーズハローワーク・マザーズコーナーがある。宗像市には「宗像市ふるさとハローワーク」と同じフロアに男女共同参画推進課があるので、女性が働くことを支援するフロアとして、女性が相談に行きやすい環境の整備を検討できないか。
答 女性が気軽に相談に行ける環境について、本市単独ではできないが、関係機関と協議しながら誘致に向けて進めていきたい。



香害の健康被害への理解と対策を
ふくおか市民政治ネットワーク／笠井 香奈枝

問 公共施設での香りなどの化学物質への対策は、公共施設を所管する各部長に施設での芳香剤使用自粛を要請。職員には香水や柔軟剤などの使用に配慮するよう注意喚起し接遇マニュアルでも香りの強い香水や整髪料の使用自粛を求めている。

問 学校で子どもと保護者に香りに関するアンケート調査をしてはどうか。

答 学校現場の状況次第では検討する必要がある。

問 香害による健康被害への理解を深めるため、学校などでリーフレット

を配布してはどうか。
答 今後検討する。
問 学校に設置予定の空調設備とともに、香り対策として各教室に換気扇を設置してはどうか。

答 空調設備の仕様は未定なので、設置時に換気機能も確認していく。

その他の質問 安心安全な自校式給食を投票率向上の取り組みを



時代のニーズに即した公共交通を
宗輝会／小島 輝枝

問 県が進める公共交通広域化の路線に「宮若ー宗像」が含まれるが事業の概要と本市の対応は。

答 実施に向けた具体的な話まで至っていないが、本市のニーズが小さく慎重な対応が必要。

問 高齢者などの交通弱者への対応策は。

答 ふれあいバス・コミュニティバス施策を継続し、地域コミュニティと見直しを行いながら利便性を高めていく。

問 高齢者の運転免許自主返納者支援事業の内容と返納実績は。

答 70歳以上の返納者

に、ふれあいバス・コミュニティバスの回数券、市内タクシー業者の回数券、ninoosのいづれかを交付。件数は年々増加し平成29年度は355件となっている。

問 先進地事例を参考にデマンドタクシー導入の検討を。

答 事例を検証し、慎重に判断していきたい。



地域の公共交通
ふれあいバス



これからの農業政策について
宗像志政クラブ／井浦 潤也

問 都市と共生する農業の確立を目指すために多彩な担い手の育成、たくましい農業振興、地産地消の推進が重要と考えるが本市の対策は。

答 水田においては、水稻以外の作物の耕作条件を改善するため、JAむなかたと連携し、今後4年間で97haの暗渠排水設備(※5)の新設・更新を順次実施し、国の補助金を活用し加工用米の栽培に對して本市独自の補助金を上乗せし、主食用米以外の作付転換を促進していきたい。

問 農地中間管理事業で

は、農地の集積を図り農業者に還元でき、併せて耕作放棄地の抑止にもつながると思うがどうか。
答 経営規模の拡大を望む農家に農地を貸し付けることで、耕作放棄地の防止にもつながると考える。

その他の質問 選挙における投票率の向上を



特別支援を要する子どもの支援は
公明党／岡本 陽子

問 宗像市に特別支援学校を設置する効果は。

答 本市内から古賀特別支援学校に通学する児童・生徒の通学時間が短縮される。また高い専門性を誇る福岡教育大学の知見が生かされれば教育力の向上が期待でき、多様で専門性を要する教育的ニーズに先進的に取り組む教育都市としての姿勢を示すことができる。

問 本市においては情緒障がいが増えており、対応できる特別支援学校が必要では。

答 特別支援学校は、学校教育法によって対象の



有機野菜の給食を宗像ブランドに
宗像志政クラブ／吉田 剛

問 オーガニック(※3)野菜を使った学校給食により宗像のブランドデザイン(※4)を。また課題となる価格差について市が補助できないか。

答 学校給食に導入した場合、食材への安心感が高まり、これまで以上に食育の生きた教材としての効果が期待できるが、

問 一方で価格や供給量の確保、需給体制の構築などの課題もある。補助については国の助成制度などを活用し、有機農業に取り組む方への支援を基本に考えていきたい。

問 保育園や幼稚園をモデルケースとして大学、企業の協力のもと効果を検証してはどうか。

答 本市にある有機農業の研究会に相談をしたい。

その他の質問 ラグビーワールドカップ公認キャンパス地になかった理由と、活動において得たものをどう生かすのか。



新市長の課題認識を問う
日本維新の会／岩岡 良

問 施政方針に「コミュニティ組織の再検証」とあるが具体的に何を指すのか。

答 負担軽減として人件費や自治会活動、イベントの効率化などを見直す。

問 河東地区コミュニティの範囲の件など問題解決に向けての認識は。

答 さまざまな課題については認識している。今後、座談会などを通じて生の声を伺いたい。

問 企業誘致に伴う産業適地の確保など今後の取り組みについては。

答 平成37年までに工業用地の確保を8haから34haまで拡大し、推進して



城山中学校改築の進捗よく状況は
宗像志政クラブ／神谷 建一

問 移転か現地建て替えか、進捗よく状況は。

答 双方の可能性について調査検討中であり今年度中に方向性を示したい。

問 特別支援学校誘致が決定すれば中学校改築との優先順位は。

答 いずれの事業も重要な課題であり、平成37年度の実現に向けて進捗していく。

問 地域の熱心な取り組みに感謝している。各学校現場との活動のすり合わせ、共有を行っていく必要がある。

その他の質問 「合併から十五年」今後の広域合併の必要性について



城山中学校外観

※6 マイクロプラスチック汚染＝海洋などの環境中に存在する微小なプラスチック粒子であり、特に海洋環境において極めて大きな問題になっている。



電柱が目立つ宗像大社周辺

問 市長選挙の公約「残しタイ！先人の遺産と豊かな自然」に込めた思いは。

答 歴史遺産と自然環境を保全しながら次世代に伝え、その資産を生かし交流人口を増やしたい。

問 宗像大社周辺の無電柱化はどう整備されるのか。また工事はいつ始まるのか。



世界遺産登録後のまちづくり
宗像志政クラブ／森田 卓也

問 市が無電柱化を進めている県道部分に接続する市道3路線の調査を今年度行う。市道部分の工事は調査後の来年以降の着工を予定している。

答 九州自動車道の若宮ICと道の駅むなかたとの間の曲地区を接続点にして、北側に国道連結道、南側に自動車専用道の建設を検討してはどうか。

答 市内を南北方向につながる道路の整備の重要性は認識しているが、他自治体にもまたがり多大な費用と期間が必要。現状では難しいと考える。



臨時・非常勤職員の任用適正化は
市民自治の会／上野 崇之

法改正により会計年度任用職員の制度設計が必要だが、対象となる職員と主な検討課題は何か。

問 聴覚障がい者の聴覚獲得法として推奨されている、人工内耳購入費の助成制度を創設しては。

答 装用後の電池交換や体外装置取り換えの費用については公的な助成制度がなく、助成導入について県から検討要請も受けている。先行自治体の例を参考に年内の制度創設を具体的に検討する。

その他の質問

予防接種の意義と実施のあり方は



臨時・非常勤職員の任用適正化は
市民自治の会／上野 崇之

法改正により会計年度任用職員の制度設計が必要だが、対象となる職員と主な検討課題は何か。

問 聴覚障がい者の聴覚獲得法として推奨されている、人工内耳購入費の助成制度を創設しては。

答 装用後の電池交換や体外装置取り換えの費用については公的な助成制度がなく、助成導入について県から検討要請も受けている。先行自治体の例を参考に年内の制度創設を具体的に検討する。

その他の質問

予防接種の意義と実施のあり方は



小中学校の教員不足は市の雇用で
日本共産党／新留 久味子

小学校教員免許を持たない中学・高校の教員が、小学校の担任や授業を行う臨時免許教員が増加。市は県に教員確保を要望するが解消できず、深刻な状況である。

問 小学校教員免許を持つ常勤講師を優先的に市で雇用できないか。

答 市町村立小中学校の教員の配置は県の重要な責務である。引き続き県に要望していくがどうしてもかなわない場合は予算措置について検討する。

その他の質問

教員の多忙化が社会問題となっている。担任が徴収している学級費を



市営住宅に水洗化や風呂の設置を
日本共産党／植木 隆信

市営住宅の中には、水洗トイレや風呂が無い所があり、高齢者や子どもにも精神的な不自由をかけている。整備が遅れている市営住宅の改修計画を急ぐべきではないか。

問 アセットマネジメント推進計画に基づき改修、更新を行っていくが、住民の安全面などに影響する場合に迅速な対応、適切な維持管理を行っていく。更新まで期間がある団地の水洗化は今年度と来年度で行う予定。



整備が必要とされる城山登山道路



市政の継承と課題について
宗像志政クラブ／井上 正文

谷井市政を継承する上で、前市長がやり残した課題があれば何か。

答 前市長からは広域行政や広域連携をさらに進めたかったと伺っている。広域で有効な取り組みについては、市民に与える影響を十分勘案し、積極的に推進していきたい。

問 宮若市、福津市と将来合併する可能性は。

答 現状では難しいと考える。

問 マイクロプラスチック汚染（※6）が大きな環境問題となっているが、本市の取り組みは。

答 玄界灘に面した本市



玄界灘にあがったマイクロプラスチック



公園の伐採ごみの処理は
市民連合／福田 昭彦

市内の公園内の植木や花壇を市民がボランティアで手入れした際に発生する伐採ごみの処理のルールはあるのか。

答 改善提案書の事前提出などにより市が対応しているが、市民の相談に對し適正な説明ができていないなどの点があり再発防止に努めたい。複数の部署に関わる問題であり、今後、一定のルールづくりを行いたい。



将来のし尿処理について

問 曲地区のし尿処理施設では本市と福津市のし尿を処理している。施設

議員と語ろう！ 議会報告会を開催します

「これからの宗像」について、議員と語り合いませんか。議会では市民とのつながりを深め、開かれた議会を目指して議会報告会を開催します。多数のご参加をお待ちしております。



日時	担当議員	会場
10月9日(火) 19:00～	石松 和敏・新留久味子・神谷 建一 伊達 正信・安部 芳英・岩岡 良	日の里地区コミュニティ・センター
10月10日(水) 19:00～	植木 隆信・小島 輝枝・福田 昭彦 井上 正文・吉田 剛・小林 栄二・笠井香奈枝	池野地区コミュニティ・センター
10月11日(木) 19:00～	末吉 孝・北崎 正則・岡本 陽子 森田 卓也・井浦 潤也・上野 崇之	自由ヶ丘地区コミュニティ・センター

※事前の申込は不要です。ご希望の会場に直接お越しください。

9月定例会の日程

日程	内容
9/3月	本会議（議案上程、提案理由の説明）
4火	本会議（一般質問）
5水	本会議（一般質問）
6木	本会議（一般質問、大綱質疑）
7金	本会議予備日
10月	総務常任委員会
11火	社会常任委員会
12水	建設産業常任委員会
14金	予算決算第1特別委員会（※1）
18火	予算決算第1特別委員会（※1）
19水	予算決算第2特別委員会（※2）
20木	予算決算第2特別委員会（※2）
21金	委員会予備日
28金	本会議（委員会報告、質疑・討論、採決）

※1 予算決算第1…一般会計
※2 予算決算第2…特別会計
企業会計

編集後記

ことし5月に新市長が誕生した。当選後初議会となる6月議会の初日には、新市長の施政方針演説に多くの市民が傍聴にいられた。新市長に対する期待の大きさがうかがえる。執行部と議会はよく車の両輪に例えられる。市民の負託を受け、た新市長と明るい未来の宗像に向け活発な議論を行うため、議員としてさらに研さんを積んでいきたいと感じた議会初日の光景であった。

森田卓也